

大槌発

姉妹都市の市長が訪問

大槌町の姉妹都市、アメリカ・フォートブラッグ市のデイブ・ターナー市長が夫人のアンさんとともに



アメリカ企業の日本法人の支援で今年、浪板海岸に完成したコミュニティ施設を訪れました。フォートブラッグ市はサケ漁が

盛んなことなどが縁で2005年に大槌町と姉妹都市になり東日本大震災の発生後は様々な支援をしています。(12/15 ニュースエコー)

久慈発

「こたつ列車」運行開始

三陸鉄道の「こたつ列車」の運行が始まりました。北リアス線の久慈駅から一番列車に乗り込んだ20人余りの乗客は、こたつで暖まり特製の駅弁を食べながら車窓の景色を楽しんでいました。また途中では沿線に伝わる伝統行事、秋田のなまはげに似た「なもみ」も登場し、子どもたちは「いい子にします」と泣きながら答えていました。こたつ列車は来年3月26日まで休日を中心に運行されます。

(12/17 ニュース)



宮古発

サケのつかみ捕り

宮古の冬の風物詩「鮭まつり」が行われ、200人が鮭のつかみ捕りに奮闘しました。去年5年ぶりに川でのつかみ捕りが復活し



ていて、スタートの合図の大漁旗が振られると参加者は一斉に川に飛び込んでいました。会場では鮭汁が振る舞われたほか、新巻鮭の直売も行われました。

(12/18 ニュース)

陸前高田発

中学校校舎 お別れ会

陸前高田市の高田東中学校で新しい校舎への引っ越しを前に、今の校舎とのお別れ会が開かれました。高田東中学校は2013年に陸前高田市内の米崎、広田、小友の3つの中学校が統合して新設され、これまで校庭に仮設住宅が並ぶ旧米崎中学校の校舎で学校生活を送ってきました。



お別れ会にはお世話になった仮設住宅や地域の人たちが招かれ、全校生徒184人が感謝の気持ちを込めて合唱しました。新しい校舎は海が見渡せる米崎町の高台に完成していて3学期が始まる年明け来月16日から新たなスタートをきります。

(12/21 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の及川透子さんが、今年市内の7つの学校の校庭から仮設住宅が撤去・整備され、校庭が戻ってきたという話題を伝えてくれました。このうち先月15日に校庭の使用が再開された大船渡北小学校では、子供たちが広い校庭を元気に走り回っていたという事です。及川さんは、「児童たちが『こんなに広いと思わなかった』『これからサッカーをいっぱいしたい!』などと話す一方で、『仮設から移動してくれた人達がいるから校庭ができた』『整備を頑張ってくれた人があるから』と、子どもなりに「なぜ校庭ができたのか」をしっかりと理解していたようでした」と話していました。

(12/21)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122